

柏崎市公共施設白書



平成26年3月

柏崎市

はじめに

我が国における公共施設の多くは、高度経済成長期の急激な社会環境の変化に追随する形で建設が行われ、今日に至っています。

柏崎市においても、昭和40年代後半から小中学校などの教育施設や保育園などの子育て支援施設、地域づくりの核となるコミュニティセンターなどの整備が行われ、昭和50年代半ばからは原子力発電所誘致に伴う電源関連交付金等を活用した産業関連施設、文化施設、体育施設、公営住宅の建設、小中学校の木造校舎建て替えなどが進められました。

そして現在、こうした施設の多くが老朽化や耐震基準不適合、市町合併に伴う偏在などの問題に直面しています。

また、人口減少や少子高齢化の進展、市民ニーズの多様化などによる利用者の減少、更には、本来の施設機能が十分に発揮されないといった状況にも陥っています。

こうした施設を今後も維持・更新するとともに、抱える問題に対応していくためには、経年劣化による維持補修に加え、大規模改修や建て替えなどが必要となりますが、限られた財源の中では容易なことではありません。

このような現状を踏まえ、柏崎市ではこれからの公共施設のあり方を考える公共施設マネジメントに取り組むこととし、その基礎資料として、市が所有する公共施設の全体像と各用途別施設の現状分析をまとめた「柏崎市公共施設白書」を作成しました。

今後、本白書を活用し、適正な施設配置や施設の長寿命化を含めた保全管理など、将来を見据えた公共施設のあり方について、その方針や計画を策定し、公共施設の適正管理及び有効活用の推進に努めてまいります。

平成26年3月

柏崎市長 会 田 洋

目次

第1章 公共施設白書について	1
1 白書作成の背景	1
2 これまでの取組	1
3 白書作成と目的	1
4 白書で対象とする施設	2
5 公共施設の用途別分類	2
6 公共施設の地区別分類	3
第2章 柏崎市の概要	4
1 概況	4
2 人口推移	5
3 財政状況	11
(1) 歳入	11
(2) 歳出	12
(3) 市債残高・実質公債費比率	13
第3章 柏崎市全体から見た公共施設の現状	14
1 用途別の保有状況	14
2 地区別の保有状況	16
3 築年別の整備状況	18
4 耐震化実施状況	19
5 将来の施設の更新費用	20
第4章 分野別に見た公共施設の現状	22
1 市民文化系施設	22
(1) 集会施設	22
①コミュニティセンター	22
②集落センター	25
③その他集会施設	26
(2) 文化施設	28
2 社会教育系施設	28
(1) 図書館	28
(2) 博物館等	29
3 スポーツ・レクリエーション系施設	30
(1) スポーツ施設	30
①体育館等	30
②競技場・野球場	32
(2) レクリエーション施設・観光施設	33
4 産業系施設	35

5	学校教育系施設.....	37
	(1) 小中学校.....	37
	①小学校.....	37
	②中学校.....	39
	(2) その他教育施設.....	41
6	子育て支援施設.....	43
	(1) 保育園.....	43
	(2) 児童施設.....	45
	①児童クラブ（館）.....	45
	②その他児童施設.....	47
7	保健・福祉施設.....	48
	(1) 高齢福祉施設.....	48
	(2) 保健施設.....	50
	(3) その他社会福祉施設.....	51
8	医療施設.....	52
	(1) 医療施設.....	52
	①診療所.....	52
	②その他医療施設.....	53
9	行政系施設.....	54
	(1) 庁舎等.....	54
	(2) その他行政系施設.....	55
	(3) 消防施設.....	57
10	公営住宅.....	58
11	公園.....	60
12	供給処理施設.....	61
	(1) 廃棄物処理施設等.....	61
	(2) 排水機場.....	62
13	その他.....	63
第5章 未利用施設の現状.....		65
第6章 公共施設の課題と今後のあり方.....		66
1	公共施設を取り巻く課題.....	66
2	公共施設マネジメントに対する基本的な考え方.....	67
3	公共施設マネジメントの推進体制.....	68
4	今後の進め方.....	69

※対象施設一覧表は巻末に掲載しています。

※表紙の写真は、平成24年7月にオープンした文化会館アルフォーレです。